

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切に作る三原っ子～



MIHARA TIMES

令和7年3月12日発行

文責 校長 増崎 祥宣

## 6年生を送る会を実施しました。

3月4日（火）、「6年生を送る会」を実施しました。この集会は、これまで三原小をよくするために頑張ってくれた6年生へ感謝の気持ちを伝えるために、5年生が中心となって話し合いから準備まで進めてきました。学年からの出し物は、歌やダンス、楽器演奏、クイズ、劇など、どの出し物も工夫されていて、6年生への感謝の思いが伝わりました。6年生も集会後の感想には、この1年間の充実感とともにまわりの人すべてへの感謝の言葉がありました。みんなが温かい気持ちになる素晴らしい集会となりました。1年生から5年生は、6年生の卒業式には参加しません。全校で集まるのは最後になります。あと卒業まで残りわずかとなりましたが、最後まで三原小の楽しい思い出を作ってくれることを願っています。



## 卒業式の練習をがんばっています。

2月26日（水）から、6年生の卒業式の練習が始まりました。初めは、式に向けての心構えや基本動作を確認しました。その後、式の流れを教えてもらいました。卒業式の主役は、6年生の子どもたちです。参加するすべての人の思いを背負って堂々と行ってくれることを願っています。

回を重ねるたびに、真剣な表情になっていることをうれしく思います。本日の予行練習も立派に行うことができました。きっと、素晴らしい卒業式を保護者、来賓の方々にお見せできることと思います。



## 教室に仕切りカーテンがつけました。低学年。

体育の時間の更衣のために、男女分かれての更衣の場所を要望してきましたが、ようやく予算をつけてもらうことができました。部屋を増やすことはできませんが、教室の真ん中にカーテンをつけて、男女で仕切ることができるようになりました。これで、全学年、男女分かれての更衣ができるようになりましたのでお知らせします。